

Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

浜岡中学校の新校舎図鑑

vol.13 「木工室・金工室」「技術観察テラス」

今回は、木工室・金工室と技術観察テラスを紹介します。

校舎4階の東側には木工室・金工室を配置しました。木工室横には木工工作機械類を置く木工準備室を設置。せん断などによる粉塵が木工室に入らないよう配慮し、機械のオペレーション作業が見学できるガラス壁を設置しています。作業の特性から使うスペースが異なるため、木工室は広く、金工室はコンパクトにしています。

廊下を挟んだ西側には、水道などを整備した技術観察用テラスを設置しました。技術の授業で栽培を実施する際に利用することができます。

次回は、正門から昇降口へのアプローチを紹介します。



▲藤井紗希
佐藤工業(株)・建築担当

照 会 教育総務課 ☎0537-8733

万が一、原子力発電所で事故が発生した場合、安全を確保するためには核分裂連鎖反応を「止める」、原子炉を「冷やす」、放射性物質を「閉じ込める」ことが重要です。2011年に東京電力(株)福島第一原子力発電所で発生した事故では、地震と津波によって電源や原子炉を冷やすための機能を失い、大気中に多くの放射性物質が放出される過酷事故に至りました。

国は、この事故をきっかけに原子力規制委員会を設置して原子力施設の規制に係る新たな基準(新規制基準)を定めました。同基準により、地震や津波といった大規模な自然災害への対策、電源や冷却機能の代替手段を確保するための対策などが強化され、テロ対策なども新たに規制の対象となりました。

現在、中部電力(株)浜岡原子

Atomic

暮らしと原子力

福島第一原子力発電所事故と

新規制基準について

力発電所では、新規制基準を踏まえたさまざまな安全対策工事が進められています。事故が発生した場合でも、原子力災害による被害が限りなく低減されるよう、何重もの安全対策が講じられています。



建屋内への浸水を防止する強化扉・水密扉